

日程 平成30年9月21日夜発～24日 (北ア) 梅海新道

撮影者 岩松、戸田

9/21 バスタ新宿発夜行高速バス

9/22 黒部IC＝北又小屋－イブリ山－朝日小屋 (泊)



←001 北又小屋

大雨の中、イヤイヤ北又小屋を出発。

002→ イブリ山山頂

「この大雨は雨女の私のせいです。」と謝っているわけではない。



←003 夕日ヶ原付近

やっと小雨になってきた。池塘や草紅葉が点在する。

004→朝日小屋から白馬岳方面

朝日小屋に到着して、しばらくすると天気予報どおり青空が広がりだす。



9/23 朝日小屋ー朝日岳ー吹上のコルー黒岩山ーサワガニ山ー犬ヶ岳ー拇海山荘（泊）



←005 朝日岳山頂

本縦走の最高峰朝日岳（2418m）。快晴。劔岳も見える。あとは日本海まで下るだけだ・・・。



006→吹上のコル

拇海新道の始点（終点？）の吹上のコル。やっとスタート地点に到着。まだ十分元気。

007↓照葉ノ池周辺

広い尾根上に木道が整備された湿原が続く。ここから黒岩平まではお勧めの散策コース。



008→黒岩平

小川が流れる広々とした台地。

本日の目的地である犬ヶ岳拇海山荘の赤い屋根が雲の向こうの、はるかかなたに見える。





←009 黒岩山～犬ヶ岳

狭い尾根のアップダウンが連続する。

日差しが強くなり、休憩は日なたの山頂ではなく日影を選んで行く。



010→梅海山荘

ガスの中に現れた梅海山荘。

9/24 梅海山荘－菊石山－白鳥山－坂田峠－尻高山－二本松峠－梅海新道登山口－日本海

011 ↓ 朝焼け

妙高山、戸隠山などなど。



←012 犬ヶ岳～白鳥山

白鳥山（最奥）へ続く稜線。標高差 50～100m 程度のアップダウンが連続する。

013→白鳥小屋

屋根に上ると 360 度の眺望。



014→尻高山周辺

シキ割の水場からの急勾配（ロープ多数）を下ると坂田峠に着く。坂田峠からは緩傾斜になり、奥多摩を歩いているような感じにとらわれる。



015↓拇海新道登山口

山道から国道へでる。



016↓日本海

国道を横断して標高差 80mを下降すると日本海。

